

日中エネルギー環境交流ワークショップ

- 【日 時】 2018年10月25日 14:00-16:30
 【会 場】 キャノングローバル戦略研究所 会議室3
 【住 所】 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル11階

【開催趣旨】

パリ協定が合意されて以来、各国は、低炭素社会の構築に向けて、イノベーションを加速し、同時に効果的な国際協力のあり方について模索をはじめたところである。エネルギー消費や地球温暖化ガス排出量の観点から見ると、中国はこのいずれでも世界第一位の位置を占め、日本も世界の主要国と位置づけられる。両国の経済関係は緊密で、特に多くの日本企業が中国に投資しビジネスを行っている関係にある。このベースのもとにより広範で強固な協力関係が求められる所以である。

本ワークショップは、日中両国の専門家が集まり、地球温暖化対策を巡る取組の最新動向を確認する上で、イノベーションを通じてエネルギーと温暖化問題の解決について議論し、今後のこの分野における日中協力のあり方等について検討することを目的とする。

【開催趣旨】

14:00-14:05 主催者挨拶
 キャノングローバル戦略研究所研究主幹 芳川恒志

セッション1 地球温暖化対策を巡る最新動向

14:05-14:35 日本の動向
 京都大学経済研究所准教授 服部崇

14:35-15:05 中国の動向
 気候変動対策局処長 劉峰

15:05-15:15 Q&A

セッション2 イノベーションを通じたエネルギー温暖化問題の解決

15:15-15:35 エネルギー環境問題の解決に資するイノベーションの在り方
 キャノングローバル戦略研究所研究主幹 芳川恒志

15:35-15:55 中国のエネルギー、温暖化とイノベーション政策
 清華大学教授 国家気候変動対策専門家委員会副主任 何建坤

15:55-16:35 ラウンドテーブルディスカッション
 モデレーター キャノングローバル戦略研究所主任研究員 段烽軍
 議題1: 欧米各国の取組と成果
 議題2: 炭素市場のイノベーション推進における役割